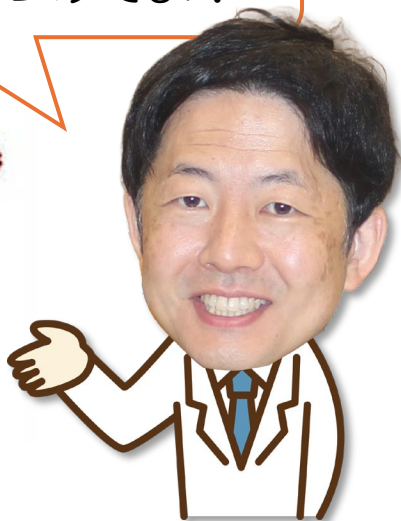
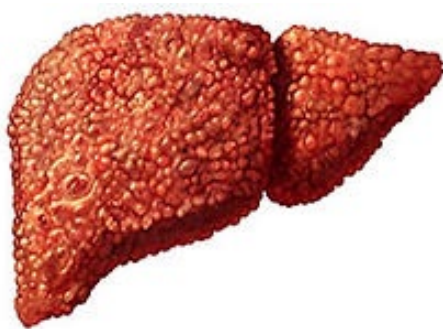
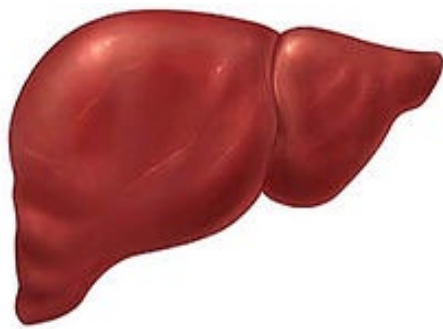
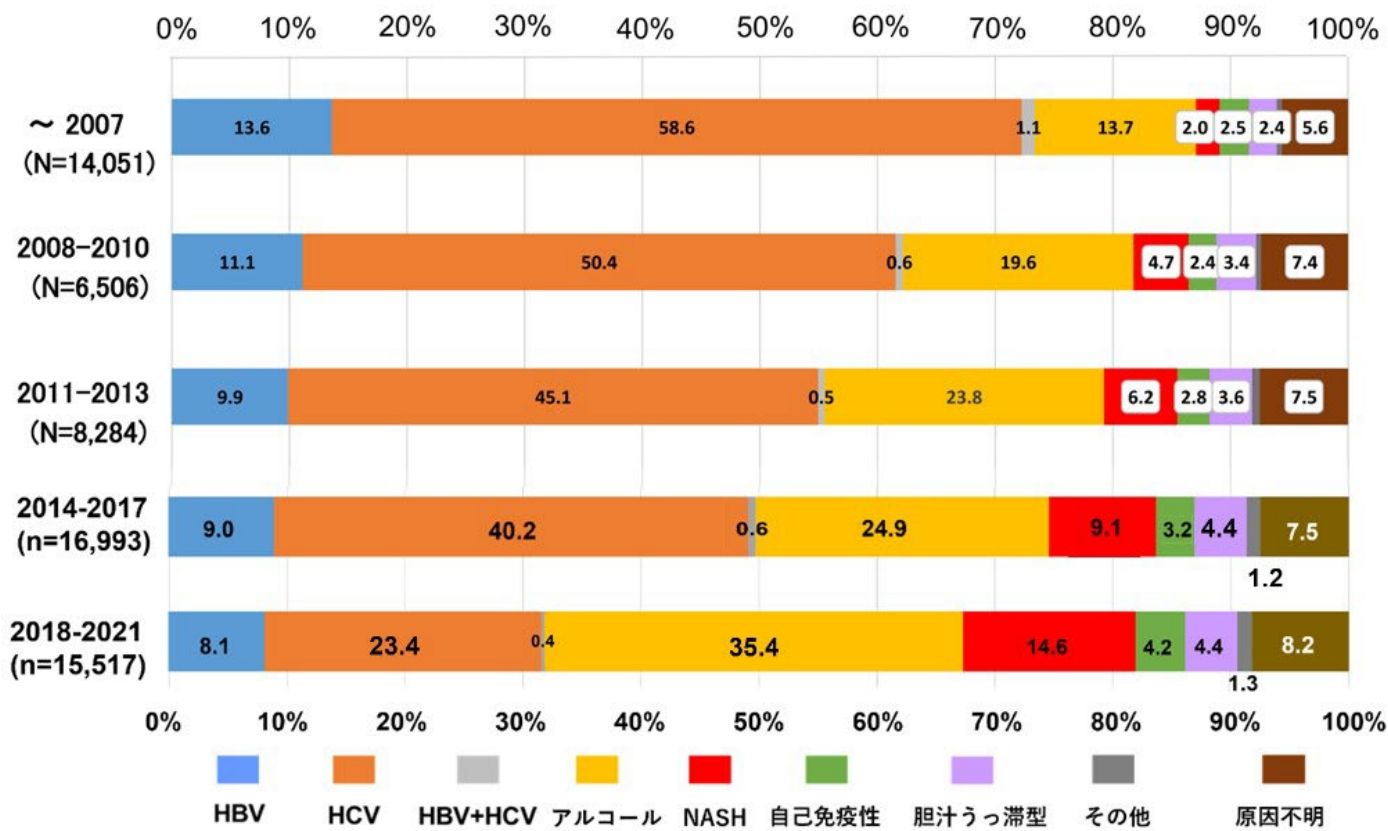


肝硬変症

お酒の飲みすぎに
気をつけてよ！



肝硬変の成因の推移



B型やC型肝炎ウイルス感染、アルコール、代謝機能障害
関連脂肪性肝疾患などによって肝臓に炎症が生じますが、
その炎症を修復するときにできる「線維（コラーゲン）」というタンパク質が増加して肝臓全体に広がった
状態のことです。肉眼的には肝臓全体がごつごつして硬
くなり、大きさも小さくなってきます。顕微鏡でみると
肝臓の細胞が線維によって周囲を取り囲まれています。
そこで肝硬変になると、肝臓が硬いために起こる腹水や
食道静脈瘤と、肝臓の機能が低下するために起こる肝性
脳症や黄疸、こむらがりなどが問題となります。